PART 19

～ビーチで水着撮影⑦～


《意識を取り戻した栞。大股開きにされていて悲鳴》
「きゃあああ！　離してください！」
【警備員】「お前が大声でイッちゃうから、ビーチの他の人たちも気付いて騒ぎ出してるぞ」
「誰か通報しちゃうねー」「逮捕かあ、可哀想ｗ」
「そんな、それだけは…」
「この格好でビーチのオーナーに頼むしかないな」
「え？」
「露出狂として全裸で過ごす許可を得るんだ」
「え、そ、そんな…」
《オーナーにＴＶ通話を繋がれセリフを強要される栞》
「初めまして。Ｓ学園2年1組の涼川栞と申します。私は露出狂なので発散したいんです、今日は大勢の人に裸を見られて2回イッちゃいました。今日だけ、ここで全裸で過ごさせてください」
『Ｓ学園って名門校よね？　お嬢様が自分からこんな格好するはずないでしょ？　やっぱり通報しないとね』
「本当に私が露出狂なんです！」（若い女性の声？）
©ILLUSION

『困ったわねえ。それじゃあ、証明してくれる？』
「証明って、どうすれば…」
『露出狂の変態ってこと、私に納得させてよ』
「彼女がオナニーして見せたら信じてもらえますか」
『まあ、嫌々じゃなければね』
「ほら、やってみろ」
「そんな…いえ、分かりました」

《おずおずと乳首と股間に手を伸ばす栞》

「ほら、オーナーさんに説明しないと」
「私は人にエッチな姿を見られてる大好き…あ、あん」
（信じてもらわないと、警察に突き出されるんだから）
『へー、栞ちゃんって、本当に変態なのねえw』

©ILLUSION


《しばらく身体を触って悶えた栞》
「…これで、いかがでしょうか？」
『うーん、なんか本気を感じられないなぁ』
「おい、イッて見せるんだ」
「もう、許してください」
『別に私はいいわよ。警察にお任せするだけだし』
「待ってください…あ、あん、あぅう」
『あら、変態っぽくなってきたわねw』
「イく時は報告するんだぞ」
「…あ、あっ、あんっ…涼川栞、イきまあすっ…」
《絶頂に達して失神し横たわる栞》
【結花】『すごーい、栞ちゃん！』
【由愛】『カメラ前で本気オナニーとかw』
【奈々】「いつも失神しちゃうんだ、気持ちよさそう」
「同級生の結花さまがオーナーと知ったらどんな顔するかな、栞ちゃんw」
『さてと、最後にもう一恥描いてもらうわよ』
『ビーチにいる会員全員にサービスしないとねw』
©ILLUSION


《オーナーに生中継されつつ絶頂を披露した栞》
『ふふ、本当に変態なのね、よく分かったわw
でもビーチで全裸で過ごすなら、他のお客様
全員に許可をもらうことが条件よ』
「全員に許可って…どうすれば？」
『やり方はバレーの子達に任せるわ』
「このボールを後ろに持って」
「え、こうですか…」
「楽しそうに笑って」
「はい…」
「その恰好で歩いて、ビーチの全員にご挨拶するのよ」
「む、無理です！」（それじゃあ本当に変態じゃない！）
「露出狂の変態ですって、皆を納得させるんでしょ？」
「それはそうですけど…」（ああ、どうしたらいいの）
「あと、ご自慢の身体も触ってってお願いするのよ」
©ILLUSION


《抵抗するが、できないなら警察に引き渡すと言われ命令に従うしかない栞》
「それじゃ頑張って。大丈夫、このビーチは会員制で秘密は守ってくれるから」
「はい…」（恥ずかしくて死にそう）
「まずあちらの男性からね」
「はい…」
《男性二人組に近づく栞》
「あ、あの…」
「え、君、どうしたの？」「なんで裸？」
「あの、私、実は露出狂の変態なんです。今日一日、この格好でビーチにいてもよろしいでしょうか？」
「まあ、いいけど…」「すごい恰好だねえｗ」
「ありがとうございます。あの、それから……」
「それから？」
「よかったら、私の、身体を触って、気持ちよくしていただけませんか？」（い、いやあっ）
©ILLUSION


「へえ、いいの？」「触って欲しいんだ？」
「は、はい…」（いや、触らないで！）
《すかさず手を伸ばす男二人》
「おっぱい柔らかい！」「太ももすべすべだね」
「ひっ、ひぃっ…ありがとうございます」
【触られたらお礼を命令されている栞】
「もう少し脚広げて…綺麗なピンクだねｗ」
「いやっ…栞のアソコ、よく見てください」
「へえ、本当に嬉しいんだね」《ぐっと胸を揉み込む》
「あ、あっ、あはぁ…」（ダメ、感じちゃう）
「お尻も触っていいよね？」
「え？　あの…あ、ああんっ！」《尻と乳房を同時に揉みしだかれ、悶える》
【警備員】「すみません、お一人30秒までにお願いしまーす」
「ビーチ公認なんだｗ」「なんかのゲーム？」
「はい、このお嬢様たってのご希望で。なお、ボールを落としたら恥ずかしい罰ゲームが追加されます」
「へー」「それは見たいな！」「あ、あん、ダメぇっ」
©ILLUSION


《男二人に責められ、3度目の絶頂に達した栞》
「またイッちゃったねw」「肌がぷりぷり」
「はい、まんぐり返しでご開帳！」
「うわ、あそこパックリ」「おしりの穴も丸見えw」
「今日3回目の絶頂でーす」「ネットで生中継w」
『屋外が癖になっちゃうね、栞ちゃんw』
「また失神とか感じすぎw」「本当に露出狂かもw」
「栞さんの意識が戻ったら、連続お触りショーになります。お一人様30秒、じっくりお楽しみください」
『ふふ、あと何回イかされちゃうのかな？』
『百人以上の男に裸を見られて触られるってなかなかできないよね』『露出狂冥利に尽きるねw』
©ILLUSION


《意識を取り戻した琛。大股開きに悲鳴》
【警備員】「やっと起きた？　ボール落としたから罰ゲーム追加だよ」《バイブを見せる》
「きゃあっ、いやあっ！」
「今度はそれとボールを落とさずに運ぶのよ」
「両手でボールを掴むので無理です」
「それはアソコに入れて運べば？」
「おおっ」「ケツでもいいよw」
「そ、そんな！」
「え、変態なんだよね？」
「それだけはできません」
「他の方法ならいいんだな？」
「はい」
「じゃあ、こうしたらどう？…」
「え、そんな…」
©ILLUSION


《口で運ぶことを自分からねだるよう強要された琛》
「涼川琛、バイブをおしゃぶりしながら、素っ裸で男の人たちに挨拶したいです！」
「本当に変態だねえ、ほら」《琛の口元にバイブ》
「まずはおいしそうに舐めるのよ。カメラ目線でね」
「は、はい…」
「オーナーさんが見てるから、舐めながら挨拶して」
「…涼川琛、おちん○んのおしゃぶり大好きです！今日はバイブで我慢します」《舌を出して舐める》
『呆れたｗ　私のビーチでは本物は我慢してねｗ』
「はい」（この声、どこかで聞いたことある？）
©ILLUSION


《口にバイブを咥え、男たちの間を歩き始めた栞》
「ふふははひほりへふ。はなはへいはへへくははい」
《「涼川栞です。裸でいさせてください」》
「こんなに可愛いのに変態なんだｗ」
「しかも目の前のカメラで中継しながらとかｗ」
「……」《究極の羞恥と快感に頭がぼうっとしている》
《ビーチ全体にスピーカーから声が響く》
『ビーチの皆様。これより、涼川栞さんが全裸許可のご挨拶に皆様をお伺いします。お一人様30秒までお触りＯＫです。また、ボールかバイブを落とした場合、その場でオナニーショーを披露されるとのことです』
「十代の可愛い子らしいぞ！」「触っていいんだｗ」
「信じられないｗ」「オナニー見てあげようよｗ」
（ひどい、見世物にするなんて……もう許して）
©ILLUSION


《スピーカーの声を聴いてビーチ中の男が集まる》
「ふふははひほりへふ。はなはへいはへへくはは
い」
「本当は水着着用がルールだけどなあ」「こんな可愛い子なら許してあげようか」「俺たちが許さなかったら警察行きかあ」「仕方ないから触ってあげるよ」「オナニーも見てみたいな」
「腰振りながら歩くんだぞ」
「ふぁい」（絶対に何も落とさないんだから…）
《口にバイブを咥え、両手を後ろに回してボールを支える栞。ゆっくりとしか歩けない》
「それじゃあさっそく…むっちりしてるね」
「おっぱい柔らかいー」
「ん、んぐぅ、ふぁ、ふぁめれすっ！」
《乳首を捻られ、尻穴を突かれて悶える》
©ILLUSION


《最初の二人の快感責めをなんとか耐えた栞》
「お、来た来たw」「よろしくね、栞ちゃん」
「ピチピチで白くてエロい身体だねー」
「あひはほうほはいまふ」（何でおれなんか…）
《三人の男が取り囲み、手が栞の双乳と股間に伸びる》
「穴に指入れるのはOK？」
「どちらの穴も第一関節までOKです」
「はへえ！…んふぅっ」
「乳首をこうしたらどう？」「はひぃ！」
「お尻の穴に入れちゃうよ」「ん、んぐぅ！」
「きつそうなアソコ…ちょっとだけ」「い、いひぃっ」
《性感帯を同時に責められ悲鳴を上げて悶える栞。
必死に踏ん張り、ボールとバイブを落とさない》
「はい、30秒です」「あーあ、もう少しでイッたのに」
©ILLUSION


《次の三人がすぐに栞を取り囲む》
「君の感じるとこ、もう分かったよ」「ここが感じるんだよね？」「おっぱいはこんな風に揉んで、と」
「あひぃ、ふぁめ、ふぁめぇ！」《乳房、乳首、尻穴、秘穴、クリ○リスを責められ、全身がビクビク震える》
「おお、すげえ」「気持ちよさそう」「ビーチであんなによがるかね」「もうたまらんw」「喜んじゃって」
「清楚ですって顔してる癖に」「もう見てられない」
「あと10秒です」
「よし、スパートだ」「OK」「おりゃあ！」
「ふあ、ふぁめ、ふぁめえっ！」
《栞の口が開き、バイブが落ちる》
「やったあ！」「イかせられなかったのは悔しいw」
「でもこれでオナニー見れるしw」
《3人への拍手がビーチで沸き起こる》
「はい、バイブを落としたので、栞さん、オナニーショー披露の罰ゲームをお願いします」
「え、う、うそ…」《呆然としてべったり腰を落とす》
「本気でイかなかったら承知しないわよ」
©ILLUSION

使用したプログラム・素材等

■本作品は、ILLUSIONの「ハニーセレクト ～コンプリートパック～」を使用して作成しています。（http://www.illusion.jp/preview/honey_party/index.php）

■また、イリュージョン公式ページに投稿のキャラデータやシーンデータを活用しています。
その他、個人HPに掲載の服なども使用しています。各作者の方に感謝いたします。

■本作品のコンテンツの著作権は ILLUSIONに帰属し、販売等は認められていません。
転載・販売等は行わないようお願いします。